

国際会議から

第6回構造物制振システムとモニタリングに関する国際会議 (6WCSCM)

本会議は、土木、機械および宇宙工学といった多岐にわたる分野における「構造物」の制振技術、設計技術およびモニタリング技術に関する代表的な国際会議であり、4年に一度開催されています。特別セッションでは、最新の免振・制振技術を取り入れた超高層ビル開発に関する発表や、国際宇宙ステーションの構造的な課題、超音速旅客機と大気との境界条件に関する話題など、土木工学を対象とした会議を中心に参加してきた筆者としては文字通り「最先端」をイメージさせる研究が発表されていました。

今回筆者は、洪水時の橋脚健全度の管理とモニタリングに関連する内容を発表しました。同セッションでは、台湾における洗掘問題に関する実験的取り組み、動物のヒレや河床の石を模擬したセンサによる河床変動検知装置など多岐にわたる講演がありました。特に台湾においては日本と同様に洗掘に対する問題意識が高く、日本との安全管理の考え方



Palau Reial 駅付近を走るトラム



渡邊 諭
防災技術研究部
地盤防災研究室
副主任研究員

の違いや構造物の設計思想の違いなどを含め、有意義な意見交換を行うことができました。

会議が開催されたカタルーニャ工科大学へは、ガウディに代表される建築文化華やかなバルセロナ中心部から、利便性の高い地下鉄線で容易にアクセスできます。またトラムも市内に全6路線が整備されています。

正式名称：The 6th World Conference on Structural Control and Monitoring
開催国：スペイン(バルセロナ)
期間：2014/07/15-17
主催：カタルーニャ工科大学, the European Association for the Control of Structures 他
開催頻度：1回/4年
次回開催予定：2018年 開催場所未定
ホームページURL：<http://www.6wcscm.es/>